

## 試験研究（事前）評価整理表

試験研究機関名 林業研究センター

所 管 課（室） 農業振興課研究開発室

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	理由	外部評価アドバイザー意見
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	有用遺伝資源の増殖技術の開発	広葉樹増殖技術の開発	広葉樹(ブナ科やサクラ類等)のつぎ木、さし木等による増殖技術を開発し、広葉樹の活着、発根、馴化の手法を確立する。	広葉樹の優良母樹を探索するとともに、つぎ木、さし木等による増殖技術を検討する。さらに、土壌馴化調査を行う。	21	25	A	広葉樹の増殖技術は今後の環境資源としての樹木の増殖に必要不可欠な技術であり、ニーズも高いので積極的に実施すべきである。	一部の天然記念物等広葉樹の枯損を受け、その遺伝資源を守るため、ブナ科やサクラ類等の広葉樹の増殖技術の開発を目指す研究内容である。研究当初に行われる優良母樹の探索の可否が、その後の研究推進の鍵となるように思われるが、研究ニーズは高く、研究計画も妥当であり、研究の実施により目的の達成が見込まれる。
2	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	中山間地域の産業振興を支援するための総合的な技術開発	ナツハゼ増殖技術の開発と優良品種選抜	ナツハゼのクローン増殖技術を開発し、優良品種の選抜を図ることにより、果実の加工販売につながる栽培技術の体系化に資する。	これまで困難とされてきたナツハゼの挿し木を中心にクローン増殖技術を開発し、野生採等の収集を行い、結実性等の面から優良品種の選抜を行う。	21	25	A	ナツハゼについては高い食品機能性から注目度が高く、加えて栽培へのニーズも高まってきていることから、クローン増殖手法、優良品種の選抜等、栽培に向けた技術の開発を積極的に行うべきである。	ハイテクプラザ会津によるナツハゼ機能性研究を受け、ナツハゼの訴求性が高まる中で、その供給のための栽培技術の開発と体系化を目指す研究内容である。クローン増殖技術、優良品種選抜等が達成されれば、中山間地域振興の面からも意義深いと感じられ、研究の進展に期待が持たれる。